

■ 3学期が始まりました～

1月14日(火)から3学期が始まりました。私からは冬休みから3学期にかけての学習・生活・部活動などの取組はとても重要であり、当たり前前のことを当たり前前に積み重ねることの重要性について話をしました。そして、1学期始業式、入学式で話をした「志は千里にあり 道は平素にあり」という言葉を再度紹介しました。「志は千里にあり」とは、「心に決めた夢や希望、目標を成し遂げるには、長い道のり(時間)が必要である」という意味です。また「道は平素にあり」とは、「その夢や希望、目標を成し遂げるためには日々の積み重ねが大切である」という意味です。生徒の皆さんには『夢や希望、目標を高く掲げ、毎日の当たり前前の積み重ねを大切にしてお過ごし欲しい』と思っています。

人間は目標をもつことによって、その目標を実現するために、自分自身を磨き、鍛え、心やからだ、様々な能力を高めることができます。目標をしっかり意識することによって、「夢はみるもの」から「夢はかなえるもの」へと変わっていきます。そして、その目標を実現させるために、日々当たり前前のことを当たり前前に積み重ねる根気強さを中学校生活で身につけてほしいです。



■ 2年生餅つき・調理実習

1月21日(火)～23日(木)の3・4校時に2年生の各クラスが、餅つき体験・調理実習を行いました。餅米は、2年生が春に田植えをして、秋に収穫したものを使用しました。餅つき体験・調理実習を行うことによって、食物の



大切さ、勤労の大切さ、感謝の心を養うことを

ねらい実施しました。ゲストティーチャーには岩手県食の匠としてご活躍なさっている昆つな子さんにお越しいただきました。餅米を蒸した後、杵と臼を使って本格的な餅つきをしました。初めて餅をつく生徒も多く、良い経験となった授業でした。餅がつき終わった後、おづけ餅、砂糖醤油餅など、みんなで美味しくいただきました。ご指導くださった昆さん、ありがとうございました。これからもご指導ください。素敵な笑顔が咲いた時間を過ごすことができました。そして貴重な体験ができた喜びを大切にしていきたいものです。

■ 子ども議会開催

1月24日(金)の午後、矢巾町役場議場で子ども議会が開催されました。本町の未来を担う子どもたちが自分たちで課題を発見し、町の問題点や夢などの提言を通して、政治や地域に対する関心を深めるとともに、町づくりに参画する意識を高め、郷土を愛する心を育てるために行われました。今年「持続可能な開発目標(SDGs)」が議題でした。難しい問題に真剣に向き合い、「将来の矢巾町をどんな町にしたいか」という観点から、町内6つの小中学校の児童生徒が真剣に議論をしました。本校からは生徒会執行部の代表生徒4名が参加して、ICTを活用した教育の充実、インターネット環境整備を通じたフリモントとの交流、公共施設等を活用した学習スペースなど建設的で提案性のある質疑を繰り広げました。矢巾町の未来構想を真剣に議論した議会となりました。

■ 健康管理を入念に・・・

今年度は矢巾町でも秋頃からインフルエンザが流行しており、本校でもなかなか終息しない日が続きました。3年生は、私立高校入試、公立高校推薦入試、そして公立高校一般入試に向けて頑張っています。3年生は進路実現に向けた大切な時期、1・2年生は今年度まとめと来年度準備に向けた大事な時期ですから、インフルエンザ、感染性胃腸炎などの予防に心がけて生活して欲しいと思います。